

Ⅱ. 分担研究報告書

厚生労働科学研究費補助金
「循環器疾患等生活習慣疾病対策総合研究事業」
「自動体外式除細動器 AED を用いた心疾患の救命率向上のための
体制の構築に関する研究」(H18-心筋-01)
(主任研究者 丸川征四郎)

平成18年度研究報告

分担研究

AED 教育の効果的な普及法にかかわる研究

分担研究者 丸川 征四郎
(兵庫医科大学 救急・災害医学 教授)

平成19(2007)年3月

目 次

1. 研究者名簿
2. 分担研究報告書
 - 研究課題 A 学童・学生・一般成人を対象とした自動体外式除細動器 (AED) 啓発アニメーションの作製と教育効果の検討
研究代表者 長谷 敦子
 - 研究課題 B 学校における簡易型蘇生人形を用いた心肺蘇生法教育の効果
研究代表者 田中 秀治
 - 研究課題 C DVD 教材と個人専用人形を用いた市民に対する心肺蘇生および AED 講習の有効性の検証
研究代表者 坂本 哲也
 - 研究課題 D 小児 AED の効果的な普及法にかかわる研究
研究代表者 清水 直樹
 - 研究課題 E 医系大学生の AED を含む救急蘇生教育のあり方と普及法についての研究
研究代表者 丸川 征四郎
 - 研究課題 F 公共施設における AED の効果的な設置・表示のあり方に関わる研究
研究代表者 畑中 哲生
 - 研究課題 G 市民の AED 使用事例に関わる情報の活用と事後検証のあり方に関する研究
研究代表者 浅利 靖
 - 研究課題 H 日本版救急蘇生ガイドラインに基づき救急救命士等が行う救急業務活動に関する研究
研究代表者 谷川 攻一

研究者名簿

分担研究者	丸川征四郎	兵庫医科大学 救急・災害医学
研究協力者		
研究課題A	代表者 長谷 敦子 坂本 哲也 畑中 哲生 清水 直樹 丸川 征四郎	長崎大学医学部・歯学部附属病院救急部 帝京大学医学部附属病院救命救急センター 救急救命九州研修所 国立成育医療センター手術集中治療部 兵庫医科大学救急・災害医学
研究課題B	代表者 田中 秀治 安田 康晴 高橋 宏幸 中尾 亜美 津波古 憲 桜井 勝 小峯 力	国土舘大学院 救急救命システムコース 国土舘大学院救急救命システム 国土舘大学院救急救命システム研究科 国土舘大学院救急救命システム研究科 国土舘大学院救急救命システム研究科 成蹊大学健康管理センター 流通経済大学
研究課題C	代表者 坂本 哲也 金子 一郎 竹内 保男 丸川 征四郎	帝京大学医学部附属病院救命救急センター 帝京大学医学部附属病院救命救急センター 帝京大学医学部附属病院救命救急センター 兵庫医科大学救急・災害医学
研究課題D	代表者 清水 直樹 柳井 真知 長谷 敦子 山野上 敬夫 谷川 攻一 松平 宗典 丸川 征四郎	国立成育医療センター手術集中治療部 神戸市立市民病院救急救命センター 長崎大学医学部歯学部附属病院救急部 広島大学医学部救急医学 広島大学医学部救急医学 兵庫医科大学救命救急センター 兵庫医科大学救急・災害医学
研究課題E	代表者 丸川 征四郎 坂本 哲也 長谷 敦子 吉永 和正	兵庫医科大学救急・災害医学 帝京大学医学部附属病院救命救急センター 長崎大学医学部・歯学部附属病院救急部 兵庫医科大学救命救急センター
研究課題F	代表者 畑中 哲生 長瀬 亜岐 野口 普子	救急救命九州研修所 新潟県立看護大学地域生活看護学領域 武蔵野大学心理臨床センター

金子 洋 名古屋市消防急救命九州研修所防局天白消防署
清水 直樹 国立成育医療センター手術集中治療部
長谷 敦子 長崎大学医学部・歯学部附属病院救急部
坂本 哲也 帝京大学医学部附属病院救命救急センター
丸川 征四郎 兵庫医科大学救急・災害医学

研究課題G 代表者 浅利 靖 弘前大学医学部救急・災害医学
丸川征四郎 兵庫医科大学救急災害医学
坂本 哲也 帝京大学医学部附属病院救命救急センター
畑中 哲生 救急救命九州研修所
清水 直樹 国立成育医療センター手術集中治療部
平出 敦 京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター
興水 健治 埼玉医科大学総合医療センター救急科
長谷 敦子 長崎大学医学部・歯学部附属病院救急部
今 明秀 八戸市立市民病院救命救急センター
吉田 竜介 日本医科大学附属病院高度救命救急センター
小菅 宇之 横浜市立大学附属市民総合医療センター
高度救命救急センター

研究課題H 代表者 谷川 攻一 広島大学医学部救急医学
伊藤 靖 滝川地域保健部保険所
近藤 久禎 日本医科大学附属病院高度救命救急センター
坂本 哲也 帝京大学医学部附属病院救命救急センター
清水 直樹 国立成育医療センター手術集中治療部
長谷 敦子 長崎大学医学部・歯学部附属病院救急部
畑中 哲生 救急救命九州研修所
松本 尚 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター
吉田 竜介 日本医科大学附属病院高度救命救急センター
丸川 征四郎 兵庫医科大学救急・災害医学

厚生労働科学研究費補助金
「循環器疾患等生活習慣疾病対策総合研究事業」
「自動体外式除細動器 AED を用いた心疾患の救命率向上のための
体制の構築に関する研究」(H18・心筋-01)
(主任研究者 丸川征四郎)

分担研究 AED 教育の効果的な普及法にかかわる研究
分担研究者 丸川 征四郎

平成18年度研究報告

研究課題A

学童・学生・一般成人を対象とした自動体外式除細動器 (AED)
啓発アニメーションの作製と教育効果の検討

研究代表者 長谷 敦子
(長崎大学医学部・歯学部附属病院救急部 准教授)

平成19(2007)年3月

目 次

1. 分担研究報告書	3
研究要旨	3
A. 研究目的	3
B. 研究方法	3
C. 研究結果	3
D. 考 察	4
E. 結 論	4
F. 健康危険情報	4
G. 研究発表	4
H. 知的財産権の出願・登録状況	4

資料A-1 アニメーション・シナリオ

資料A-2 アニメーション・絵コンテ

学童・学生・一般成人を対象とした AED 啓発アニメーションの作製と教育効果の検討

長谷 敦子*¹、坂本 哲也*²、畑中 哲生*³、清水 直樹*⁴、丸川 征四郎*⁵
長崎大学医学部・歯学部付属病院救急部*¹、帝京大学医学部付属病院救命救急センター*²、
救急救命九州研修所*³、国立成育医療センター手術集中治療部*⁴、兵庫医科大学救急災害医学*⁵

研究要旨：本研究は、学童・学生を含む市民にとって、解りやすく親しみやすい AED 啓発アニメーションを開発し、これを AED の普及啓発に活用することを目的とした。初年度は、AED 啓発アニメーションを AED 教育の受講歴がないアニメ制作チームの市民的感性を当研究班員の専門的知識がサポートする形で共同制作した。主な視聴者を小学校高学年位の子供達と設定した。ストーリーは、主人公が倒れた祖父の救急蘇生を間近に直視すると言うもので、同年代の子供達は強く共感し、AED と救急蘇生の重要性への理解を深めるよう企画した。次年度は、このアニメを用いた教育を展開して、その教育効果を調査し、幅広い対象に向けて活用できるように教育法を開発する。

A. 研究目的

AED の効果的な普及のためには、市民を対象とした AED 講習会等のアドバンスな教育と平行して、講習に参加できない多くの市民が AED と救命処置の重要性を理解できるよう計らう必要がある。そこで、本研究は、市民に解りやすく親しみやすい啓発教材の開発を行い、その教育効果を検討して改良し、広く活用することを目的とした。

初年度は、小学校高学年以上の学童および学生と、これまで蘇生教育を積極的に受けたことがない一般成人を対象として、①AED の存在を知ってもらう、②AED や心肺蘇生に関心を持ってもらう、③さらに AED 講習会に参加する意欲を湧かせる、ことを目的とした導入教材として、AED 啓発アニメーションを作製した。

B. 研究方法

アニメーションの制作は、株式会社オフィスフラッグス、株式会社ちばテレビメディアネット、株式会社イマジセンターの制作チームと、

当研究班で行った。

最初に制作チームは、日本版ガイドライン準拠救急蘇生法の指針（市民用）を含めた AED の資料と、当研究班メンバーとのミーティングにより、AED と一次救命処置について予備知識をつけた。次に、制作チームが、非医療従事者の目線でシナリオ案と絵コンテ案を作製した。当研究班メンバーは、医学的な見地や教材対象者の心理的影響等を専門的な立場から、厳しい修正を求めた。このような遣り取りを繰り返す方法で作成した。

C. 研究結果

シナリオは、小学低学年の児童が主人公である。祖父と新発売のゲームソフトを購入するために近所の販売店に向かう。祖父は、途中で一過性の胸痛を訴えたが軽快し、ゲームソフト購入直後に再び強い胸痛に教わり倒れる。店員や救急隊員が連携して AED 使用、心肺蘇生を行い救命される、とした（資料 A-1：シナリオ）。

これに沿って制作チームはアニメ画像を製

作したが、シナリオと同様に当研究班メンバーが厳しい注文を繰り返し、完成に向けて作業を進めている（資料A-2：絵コンテ）。

アニメの上映時間は、子供達の集中力が持続する範囲（8～10分）を考慮し、約10分とした。まもなく、声優による音声の吹き込み等が終わり、平成19年4月中旬に完成の予定である。

D. 考察

アニメーションを教育ツールとして選んだ理由としては、対象者の年齢や社会的に左右されにくく興味を示しやすいこと、実写に比較して刺激が強すぎないこと、日本のアニメーション技術が優れていることなどである。

内容は、小学生の主人公とスーパーマーケットで買い物中の祖父が、心室細動による心肺停止になるが、救急車が到着するまでにバイスタンダーによるCPRとAED使用で回復するというストーリー仕立てにした。この出来事で主人公とともに視聴者がAEDに興味を持ち、後半部分ではAEDマスコットキャラクターがAEDについて簡単な説明を加えるような手法とした。

主人公は、倒れた祖父の救急蘇生を間近に疑似体験することで、同年代の聴衆に強い共感を誘うことが期待される。

これまでAEDを全く知らなかった製作チームの“蘇生には素人の目線”と、“プロモーションビデオとアニメーション製作の専門家の目線”でシナリオの素案を作成した。従って、専門家が語り掛ける場合の堅苦しさがなく、子供達にもわかりやすく、必要な情報が正しく盛り込まれたと評価している。

完成すれば、実際のAEDを含む蘇生教育を行い、アンケート調査等によって蘇生教材としての有効性を検討する。特に、このアニメーション教材を見た事によってAEDに対する知識や関心が高まったか否か、また成人に対しては講習会参加への意欲が生まれたか否か、などに

ついて大規模評価を実施する予定である。さらに学童や学生に対しては、アニメーション教育を受けて帰宅したあと、父母や兄弟に説明することで、家庭内での普及効果が生じるか否かについても調査する。

最終的には、短時間で多くの対象にAEDを啓発できる教材として、学校や公共施設等で活用されることが望まれる。さらに、可能なら対象階層別に使用できるよう改良する。

E. 結論

AED啓発教材として、アニメーションを製作した。今後は教育効果を調査し、幅広い対象に向けて広く活用できるように、使用対象・方法さらには必要な改良を加える。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 特になし

登場人物

しろっ 小学四年生。元気いっぱいな男の子

まこ姉ちゃん 中学2年生。面倒見の良いしろっのお姉ちゃん

おじいちゃん しろっとまこ姉ちゃんの祖父

店長 ○xスーパーの店長。救急救命の講習を受けている

パート1【はじまり】

○道すがら

おじいちゃんの手を引く張ってゆくしろっ

しろっ「ほくしろっ！小学4年生！今日は待ちに待った格闘ゲームの続編が発売される日、おじいちゃんにおねだりして買ってもらえることになったんだ。でも、楽しいはずのその日に、たいへんなことが起こっちゃったんだ。みんななにごんな時どつする？」

おじいちゃんの足が止まる。右手を左胸に当て、冷や汗をかいている。

しろっ「どうしたのおじいちゃん、大丈夫？」心配そうに覗き込むしろっ

おじいちゃん「大丈夫、すぐおさまるから冷や汗をかきながらも、しろっに心配かけまいと笑顔をつくるおじいちゃん。

しろっ「あーよかった。心配しちゃうよ。」

再び楽しげに話しながら大型スーパーに向かう二人の後姿。少し不安げな音楽でホワイトアウト。

パート2【倒れるおじいちゃん】

○ 大型スーパーの外観

○ 大型スーパー玩具売り場

お目当てのゲームソフトを見つけたはしゃぐしろっ。よかったねと言いたげに笑顔で頷く祖父。

しじを終えて、手に入れたゲームに喜ぶしろっ。そこに、同じパートに買い物に来ていた姉のまこが二人を見つめる。新しいゲームソフトを買ってもらって「機嫌のしるっ。まこ姉ちゃんに自慢している。

後ろからおじいちゃんが続く。

しろっ「おねーちゃん、これ、ほら、新作のゲームっ……」

まこ「よかったねっ。しろっ。おじいちゃんにちゃんとお礼言った？」

しろっ「そうだった」

しろっ、おじいちゃんにお礼を言おうと振り向く

するとおじいちゃん、胸を押さえ苦しげな表情をしている。

しろっ「おじいちゃん、ありがと……おじいちゃん……どうしたの？」

おじいちゃん「うっ……胸が……」

おじいちゃん、バタリとその場に倒れる。

客「キャー……ッ(悲鳴)」

騒然となる店内。

驚くしろっとまこ

まこ「おじいちゃん大丈夫！」

駆け寄るまことしろっ

しろっ「おじいちゃんしっかりして！おじいちゃん……」

× × ×

パート3【人を呼ぶ、ものを呼ぶ】

○同スーパー内

倒れているおじいちゃんに必死で呼びかける2人

おじいちゃんに回答はない

しろっ「おじいちゃん！しっかりして！おじいちゃん！」

おじいちゃんの肩を揺るしろっ

まこ「おじいちゃん！どうしたの！っおじいちゃん！」

パニックになるしろっ。泣き出してしまっ。

まこ「心の声」どうしよう。どうしよう……。落ち着かなきゃ。落ち着かなきゃ

そっだ！救急車！」

しろっ「ワーン、ワーン(泣き声)」

まこ、しろっの肩を抱いてこちらを向かせ、話しかける。

まこ「しろっ、しっかりして！店員さんを呼んできて。お姉ちゃん救急車呼ぶからしろっ、うん！呼んでくる！」

しろっ、泣きやみ大きく頷く。

まこ「しっかりね！」

店員を呼びに行くしろっ。

まこ震える手で携帯を取り、119にダイヤルする。

何回かのコールの後つながる。

消防署指令室「119番消防署です。火事ですか、救急ですか？」

ま「慌ててうまく対応できない」

ま「助けてください！」

消防署指令室「落ち着いてください。大丈夫です。私がする質問に、落ち着いて答え

てください！いいですか？」

消防署指令室「火事ですか？救急ですか？」

ま「救急です」

消防署指令室「場所はどこですか？」

ま「〇×市の〇×スーパーです」

救急センター「どうしましたか？」

ま「おじいちゃんが突然倒れて、反応がないんです」

消防署指令室「応急処置の仕方はわかりますか？」

ま「わかりません。応援を呼んでます」

消防署指令室「はい、わかりました。すぐに出動します」

ま「おねがいします！」

電話を切ると、しろうがスーパーの店長を連れて戻ってくる。

しろう「じいちゃんです！」

パート4【一般の人による蘇生、AED】

〇同スーパー内

倒れているおじいちゃんの元に駆け寄る店長としろう。

店長「大丈夫ですか！？わかりますか？」

店長「おじいちゃんの肩を叩くが応答がない」

ま「店長の元に走りより、話しかける」

ま「さっきから反応がないんです」

店長「救急車は呼びましたか？」

ま「はい。こちらに向かっています」

店長「分かりました。おじい君！」

店長、店員を呼ぶ。

店長「救急車が来たときに誘導出来るよう、店の外で待機してください！」

店員「はい！」

店長「それから君は、AEDを直ぐに持って

来てください！」

店員「はい！」

走っていく店員2人

店長「おじいちゃんの肩をゆする

店長「わかりますか。反応がないな」

呼吸も無い…今から胸骨圧迫をします」

店長「そうだ、この間講習で教わったなあ、うん、そう、これでいいはずだ」

画面がフリーズして暗くなる。再びエイド君登場

エイド君「さあ、ここで店長が応急措置として、胸を押ししていますね。押し方をわかりやすく説明するね。まず、胸を押し場所の探し方だ。乳頭と乳頭を結ぶ胸の真ん中がその位置」

おじいちゃんの胸の圧迫の場所(乳頭間線)を明示

画面もどる

店長「それから、圧迫の方法は、腕を伸ばして、まっすぐ下へ強く押す。回数

は、えーと、そう、強く速く」

心肺蘇生を試みる店長と店員、ざわめく人達と不安そうなまこ、しろう。

しろう「おねえちゃん！おじいちゃん大丈夫

夫かな！おねえちゃん！どうしよう！」

ま「しろうしっかりして、大丈夫

よー落ち着いて！」

ま「しろうを元気づけるが、不安そうな表情

ぐったりとしたおじいちゃんと、心肺蘇生をしている店長と店員

ま「心の声」救急車はまだ…はやく！はやく来て…おじいちゃん！」

店員がAEDを持ってくる。

女性店員「店長！AEDもってきました！」

しろう「AED？」

AEDに興味を示すしろう

〇 画面がフリーズして少し暗くなる。そこにエイド君が登場

エイド君「さあ、初めてこのAEDという言葉がでてきたから、ちょっと説明しておく

ね。」AEDは、Automated External Defibrillator の頭文字をとった略語で、日本語

で言うと、自動体外式除細動器 つまり、停止した心臓に再び動いてもらう補助を

する機械なんだ。これが本体で、これが装着パッド、それに付属品だ…じや、ドラ

マに戻るよ。」

店長「君、AED 使える？」

女性店員「はい」

店長「じゃっ、ほくが機器の装着をするから、その間君は代わりに胸骨圧迫をしてくれ！」

女性店員が代わって、心肺蘇生を続ける。

画面の右下にエイド君が現れる。

店長独り言「よし、まず電源を入れて…」

エイド君「そうそう、落ち着いて…」

店長、AEDの準備をする。服を切り、電極パッドを張ろうとする。

店長「電極パッドの貼付の位置は、…」

貼付位置の明示

AEDの音声ガイダンスが流れる

AED「体に触れないでください。電気ショックを行います。ショックボタンを押し

てください」

店長「みんな離れて」

AED「体にふれないでください。ショックボタンを押ししてください」

店長「みんな離れてるね。よし」

店員、ボタンを押す。電気ショックが

走る。

AED「直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を開始してください」

店長「心臓マッサージを再開します」

店員心臓マッサージを再開する店長、続いて人工呼吸を再開しようとする。

おじいちゃん「う…う…」

意識が戻るおじいちゃん

店長「息が戻ったぞー！だいじょうぶです

かーっ」

かすかに目を開けるおじいちゃん

おじいちゃん「う…う…」

駆け寄るしろつ、ま

しろつ「おじいちゃん…！だいじょうぶ…」

ま「おじいちゃんー」

苦しげにやさしくしろつに手をな

のへてうなすくおじいちゃん

しろつ、おじいちゃんの手を握る

しろつ「おじいちゃん！よかった」

ま「おじいちゃん…」

救急車のサイレンが聞こえてくる

店員「うちですー」

店員に連れられて救急隊員がやってくる。

救急隊員がおじいちゃんに駆け寄り、店長とやり取りなどを行っている

ま「よかった…」

その様子を見てホッと胸をなで下ろすま

× × × × × ×

パート5【知りたい！】

○おじいちゃんが運ばれた病院。

情景カット。

おじいちゃんの病室。

しろつナレーション「おじいちゃんは一命をとりとめました。

でも、あと少し遅かったらとても危険だったそうです。

店長さんの対応と、AEDがおじいちゃんの命を救ったんです。

みんな、もしもこんなことが起きたらどうする？

僕は今度こそ慌てないで行動できるように勉強するんだ！

だって…大切な人を助けるために僕にも何か出来ることがきつとあると思う

から！

× × × × × ×

○病院前

おじいちゃん退院風景。

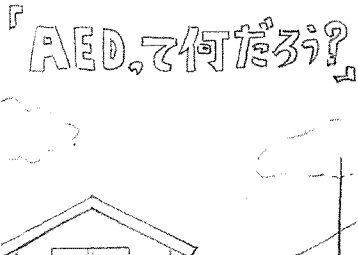
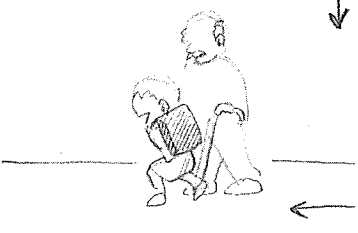
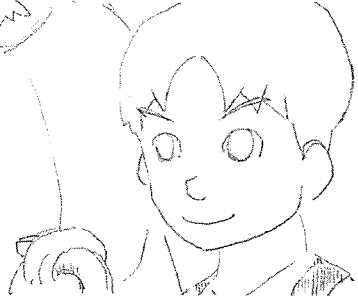
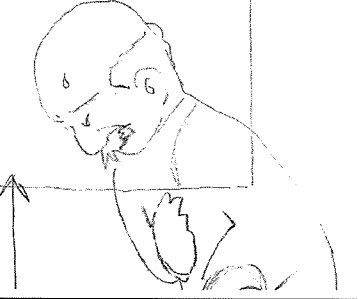

空には青空がひろがっている。

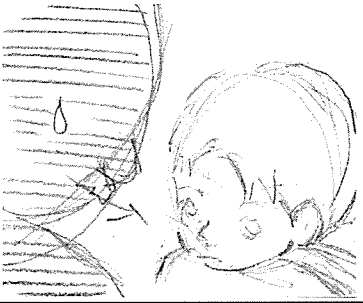


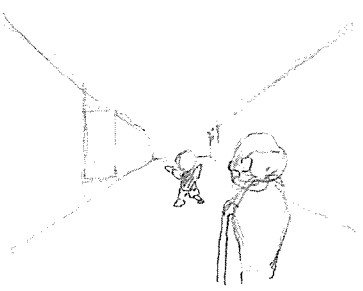
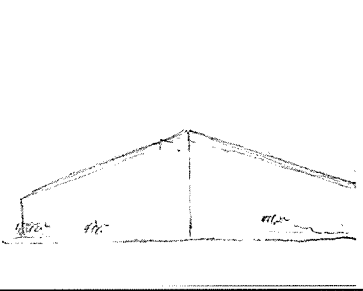
（おわり）


（四百字詰め十二枚）


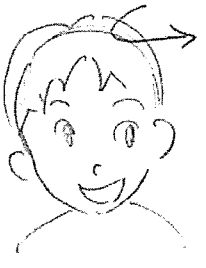
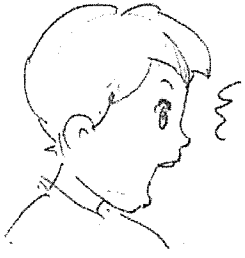

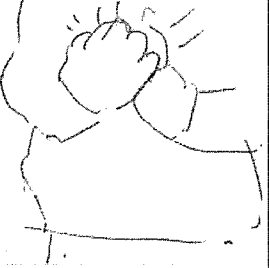
Title AED 配給 DVDビデオ

パート1

C	音声	画面	内容	秒
1		 <p>「AED, て何だろう？」</p>	<p>パート1 【はじまり】</p> <p>タイトルIN 「AEDって何だろう？」</p> <p>大空からカメラパンダウン</p>	
			<p>道を歩く、しろうとおじいちゃん</p> <p>おじいちゃんの手を引っ張って ゆくしろう</p>	
2	<p>しろうNa 「ぼくしろう！小学4年生！今日は待ちに待った格闘ゲームの続編が発売される日、おじいちゃんにおねだりして買ってもらえることになったんだ。でも、楽しいはずのその日に、たいへんなことが起こっちゃったんだ。みんなならこんな時どうする？」</p>			
3			<p>足アップ おじいちゃんの手が止まる。</p> <p>カメラ、パンアップ おじいちゃんの手は心臓、さらにパンアップ、眉にしわをよせ額にうっすらと汗</p>	
				

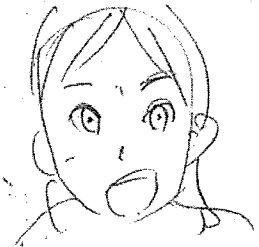
C	音声	画面	内容	秒
4	しろう 「どうしたのおじいちゃん、大丈夫？」		心配そうに のぞきこむしろう	
5	おじいちゃん 「だいじょうぶ、すぐにおさまるから。」		冷や汗をかきながらも、しろう に心配かけまいと笑顔をつく るおじいちゃん	
6	しろう 「あーよかった。心配しちゃったよ。売 り切れちゃったらこまるから、早く行こ うよ！」			
7			しろうがおじいちゃんの手を 引っ張って、急ぎ足でスー パーに向かう二人の後姿。 少し不安げな音楽でホワイト アウト。 パート1 終了	
8			パート2【倒れるおじいちゃん】 ○ 大型スーパーの外観	

C	音声	画面	内容	秒
9			<p>○ 大型スーパー玩具売り場 お目当てのゲームソフトを見 つけはしゃぐしろ。</p>	
10 -A			<p>よかったねと言いたげに笑顔 で頷く祖父。</p> <p>レジを終えて、(cut10-B)</p> 	
11			<p>手に入れたゲームに喜ぶしろ う。しかしおじいちゃんは、再 び胸に手を当てて、具合が悪 そう。</p>	
12	<p>まこ 「しろう、おじいちゃん！！」</p>		<p>そこに、同じスーパーに買い 物に来ていた姉のまこが二人 を見つける。</p> <p>二人もまこに気づき、 しろうがまこにかけよる。</p>	
	<p>しろう 「おねーちゃん、これ、ほら、新作の ゲームっ...」</p>		<p>新しいゲームソフトを買って もらってご機嫌のしろう。まこ姉 ちゃんに自慢している。</p> <p>後ろからおじいちゃんが続く。</p>	

C	音声	画面	内容	秒
13	まこ 「よかったねーっ。しろ。おじいちゃんにちゃんとお礼言った？」			
14	しろ 「そうだった」		しろ。おじいちゃんにお礼を言おうと振り向く	
	しろ 「おじいちゃん、ありがと...おじいちゃん! どうしたの?」		するとおじいちゃん、さっきよりさらに苦しそうに胸を押さえ、冷や汗をかいて苦しげな表情をしている。	
15	おじいちゃん 「う...う...胸が...」			
				

C	音声	画面	内容	秒
16			おじいちゃん、足から崩れるようにその場に倒れ... (杖はどこへいきました?)	
			仰向けになって動かなくなる	
17	客 「キャ————ツ(悲鳴)」		騒然となる店内。 驚くしろうとまこ	
18	まこ 「おじいちゃん大丈夫！」		駆け寄るまことしろう おじいちゃんは仰向け	
19	しろう 「おじいちゃんしっかりして！おじいちゃん————ん！」		おじいちゃんは仰向け パート2 終了	

C	音声	画面	内容	秒
20			<p>パート3【人を呼ぶ、ものを呼ぶ】</p> <p>○同スーパー内</p> <p>倒れているおじいちゃんに必死で呼びかける2人</p> <p>おじいちゃんに応答はない</p>	
21	<p>しろう</p> <p>「おじいちゃん！しっかりして！おじいちゃん！」</p> <p>まこ</p> <p>「おじいちゃん！どうしたの！？おじいちゃん！」</p>		<p>おじいちゃんの肩を揺するしろう</p>	
			<p>パニックになるしろう。泣き出してしまう。</p>	
22	<p>まこ心の声</p> <p>「どうしよう。どうしよう…。落ち着かなきゃ。落ち着かなきゃ」</p>		<p>あせるまこ</p> <p>cut 23 (OR)</p> 	
	<p>そうだ！救急車！」</p>			

C	音声	画面	内容	秒
24	<p>しろう 「ワーン、ワーン(泣き声)ぼくがおじいちゃんを急がせたからいけないんだ！」</p>		<p>まこ、しろうの肩を抱いてこちらを向かせ、話しかける。</p>	
25	<p>まこ 「しろう、しっかりして！店員さんをお呼びできて。お姉ちゃん救急車呼ぶから」</p>			
26	<p>しろう 「う、うん！呼んでくる！」</p> <p>まこ 「しっかりね！」</p>		<p>しろう、泣きやみ大きく頷く。</p>	
27			<p>店員を呼びに行くしろう。 携帯を取り出すまこ</p>	
28			<p>まこ震える手で携帯を取り、119にダイヤルする。</p>	

C	音声	画面	内容	秒
29	コール音 「プルルルル」			
30	プルルルル プルルルル」		倒れたままのおじいちゃん	
31	消防署指令室 「119番消防署です。火事ですか、 救急ですか？」		何回かのコールの後つながる。 。	
	まこ 「助けてください！」		まこ、慌ててうまく対応できない	
32	消防署指令室 「落ち着いてください。大丈夫です。 私がする質問に、落ち着い て答えてください！いいです か？」 まこ 「は、はい！」		消防署指令室	